事 業 報 告 書

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

Ⅰ　概況

令和２年春に始まった新型コロナ感染症のパンデミックにより、令和２・３年度は当協会及び会員の活動は大幅に制限されたが、令和４年度は、国が示した「基本的感染防止対策（①三つの密の回避 ②手洗い等の手指衛生 ③効果的な換気）を徹底しつつ行動制限を緩和する」に呼応しつつ、令和３年度第５回理事会(令和４年３月１４日開催)で決定した「令和４年度事業計画・収支予算」に沿って当初事業計画を一つ一つ慎重に遂行した。

具体的には、協会の自主事業（三曲名流演奏会、三曲定期公演―日本の響－、三曲奨励会、講演会、子供演奏会等）は、各々ほぼ例年と同じ規模・内容で、また、国・地方自治体等の助成事業（文化芸術による子供の育成事業～巡回公演事業、子供のための伝統文化・芸能体験事業、キッズ伝統芸能体験講師派遣等）は、事業の委託元・実施場所等と調整を行い、それぞれ実施することができた。

協会への寄付金については、令和４年９月に内閣総理大臣より税額控除団体として認定の更新を受け、受け容れ環境を維持した。ご寄付を頂いた方々に心より感謝を申し上げます。

また、国のコロナ禍に対する事業として国家予算に組み込まれた文化庁の緊急対策の一環である「子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業(邦楽チャレンジ)」及び「邦楽普及拡大推進事業」に対して、各々の実施団体からの協力要請に基づき、演奏者や講師派遣等の協力を行った。

協会を取り巻く環境は、少子高齢化に加え、経済のグローバル化、ＩＴ社会、労働環境等々大きく変わり、これらが「会員の減少」に端的に表れ、令和４年度末の会員数は４,176 名(前年度末比９４．９％)となった。

以下に、令和４年度事業の実施状況を報告します。

Ⅱ　主な事業報告

公益事業１　　三曲音楽の普及・振興を主な目的とする事業

公１（１）　定期演奏会事業

● 三曲名流演奏会　＜自主事業＞

【春季名流演奏会】

平成２６年にそれまでの三曲定期演奏会と三曲名流大会を統合して「三曲名流演奏会」となってから９年目の演奏会を開催した。コロナ禍のため演奏曲数を減らし、１舞台当たりの出演人数も最大４０名を目安として実施した。

日　時：令和４年５月４日(水・祝)　１１時開演
会　場：国立劇場大劇場
曲　数：３５曲
出演者：延８９２名
入場者：１,５１９名

【秋季名流演奏会】

三曲の普及・向上に向け、会員の出演機会を増やすことを狙いとして平成３０年から開催し５年目(４回目)となる演奏会を開催した。コロナ禍のため演奏曲数を減らし、１舞台当たりの出演人数も最大５０名を目安として実施した。

日　時：令和４年１０月３０日(日)　１１時開演
会　場：国立劇場小劇場

曲　数：２７曲
出演者：延５５５名
入場者：７５４名

● 三曲定期公演「第９回日本の響」　＜自主事業＞

「日本の響」は、令和元年より３年間に亘って、「三曲に描かれる能楽の世界」と題し、能をテーマとして開催。三曲には能を題材とする作品が数多く見られ、それらの曲から選りすぐった名曲を演奏してきたが、本年は「第一部 三曲に描かれる能楽の世界＜Ⅳ＞」「第二部 名曲をたずねて＜Ⅰ＞」と題し、それぞれの冒頭に講演を実施。

また、尺八本曲よりテーマに沿った曲想の作品を揃え、当協会委嘱の新作も能を題材にした作品で構成した。

日　時：令和４年１０月１日(土) 第一部　１２時開演 、第二部１６時半開演
会　場：二十五世観世左近記念・観世能楽堂(銀座 SIX 内)
構　成：第一部 講演、仕舞及び５曲、第二部 講演及び６曲
出演者：会員８５名、客演８名、講師２名
入場者：第一部　３０１名、第二部　３２８名
その他：芸術文化振興会「令和４年度文化芸術振興費補助金による助成対象活動」として実施

公１（２）　教育関係普及事業

● 箏の寄贈　＜自主事業＞

募集･周知：ホームページなどで実施
応募数：　９校　　寄贈数：　３面（再生品）
寄贈先：右表の通り
配　布：12 月に「箏の教則本」と併せて寄贈

	寄　贈　先
1	茨城県 東海村立白方小学校
2	佐賀県 唐津市立長松小学校
3	栃木県 益子町立益子中学校

● 学校等派遣演奏

①「学校等への講師派遣、演奏」　＜自主事業＞

ホームページ上で募集を行っているが、応募が無く実施しなかった。

募集･周知：ホームページなどで実施
対　象：東京都内の小中学校
内　容：講師派遣及び演奏の実施
依頼件数：　０件　　実施件数：　０件

②「文化芸術による子供育成推進事業 －巡回公演事業－ 」
＜受託事業(ＫＮＴビジネスクリエイト)＞

文化庁の選定を受け、学校の体育館等で箏のワークショップと三曲公演を巡回で実施。
当初９校の予定であったが、追加の実施依頼があり１０校での実施となった。

期　間：ワークショップ　令和４年１０月３１日～令和５年３月２日
　　本公演　　令和４年１１月１４日～令和５年３月３日
講　師：会員　延１３０名を派遣

[訪問内訳]：下表の通り

	巡　回　日　程		巡　回　先	講師数		参加会員
	ワークショップ	本 公 演		ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	本公演	
1	10 月 31 日(月)	11 月 16 日(水)	熊本県 宇城市立豊野中学校	5 名	8 名	A
2	11 月　1 日(火)	11 月 14 日(月)	熊本県 芦北町立田浦小学校	5 名	8 名	A
3	11 月　2 日(水)	11 月 15 日(火)	熊本県 八代市立高田小学校	5 名	8 名	A
4	11 月 14 日(月)	11 月 28 日(月)	福岡県 北九州市立中井小学校	5 名	8 名	B

5	11 月 15 日(火)	11 月 30 日(水)	長崎県 松浦市立調川中学校	5 名	8 名	B
6	11 月 16 日(水)	11 月 29 日(火)	長崎県 県立佐世保特別支援学校	5 名	8 名	B
7	12 月 7 日(水)	12 月 13 日(火)	佐賀県 佐賀市立諸富南小学校	5 名	8 名	C
8	12 月 8 日(木)	12 月 14 日(水)	熊本県 熊本市立桜井小学校	5 名	8 名	C
9	12 月 9 日(金)	12 月 15 日(木)	熊本県 菊陽町立武蔵ケ丘小学校	5 名	8 名	C
10	3 月 2 日(木)	3 月 3 日(金)	新潟県 糸魚川市立田沢小学校	5 名	8 名	D

[参加会員]（◎:リーダー、○:ファシリテーター、◇監修、以下五十音順）

A	◎朝香麻美子	ワークショップ	佐々木千香能	中地麻紀	松野孝子
	○芦垣皋盟	本公演	金子操由寛	久野木史恵	佐々木千香能
	◇藤井泰和		田辺恵山	中小路奈都子	山下紗綾
B	◎長塚梨秋	ワークショップ	菊武粧子	野口敏翠	吉永真奈
	○神　令	本公演	石本かおり	市川法慧能	萩岡松柯
	◇萩岡松韻		萩岡由子	長谷川将山	深海あいみ
C	◎大嶋敦子	ワークショップ	藤井妙子	望月雅子	山本裕子
	○花岡操聖	本公演	青木滉一郎	伊藤ちひろ	北川雅楽乃
	◇福田栄香		武田博華	田中奈央一	舛田路山
D	◎神　令	ワークショップ	安嶋三保子	菊武粧子	深海あいみ
	○長塚梨秋	本公演	安嶋三保子	萩岡松柯	萩岡由子
	◇　－		深海あいみ	長谷川将山	山下紗綾

③「子供のための伝統文化・芸能体験事業」　＜受託事業((公社)日本芸能実演家団体協議会)＞
アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会が主催。
次代を担う子供たちが、日本の伝統文化・芸能に触れ、体験することで、日本の文化の価値に対する理解を深め、多様な文化に対する幅広い理解を育んでもらうことを目的として、学校教育と連携した体験・鑑賞プログラムを実施。
期　間：体験・鑑賞会　　令和４年９月９日～令和５年２月８日
講　師：会員　延２４名を派遣

[訪問内訳]：下表の通り

	実　施　日	実　施　先	講師数	参加会員
1	令和 4 年 9 月 9 日(金)	品川区立第三日野小学校	4 名	A
2	令和 4 年 9 月 14 日(水)	目黒区立鷹番小学校	5 名	B
3	令和 4 年 12 月 13 日(火)	都立花畑学園	5 名	C
4	令和 5 年 1 月 25 日(水)	板橋区立向原小学校	5 名	D
5	令和 5 年 2 月 8 日(水)	台東区立石浜小学校	5 名	E

[参加会員]（◎:リーダー、○:ファシリテーター、以下五十音順）

A	◎中小路奈都子	○遠藤鈴匠	池田和花奈	長塚梨秋	
B	◎中小路奈都子	○清野樹盟	池田和花奈	長塚梨秋	松本史子
C	◎樋口千清代	○友常毘山	金澤法花能	富田華鳳賀	横山伊綴流
D	◎大嶋敦子	○舛田路山	石井雅楽帆	北川雅楽乃	花岡操聖
E	◎奥山益勢	○芦垣皋盟	佐久間杜和能	武田博華	渡理潤子

● 箏の教則本等の配布・頒布　＜自主事業＞
①「箏の教則本」
箏寄贈校に各１冊を配布、会員等の希望者に ７５冊を頒布。
②「学校音楽教師用テキスト　箏・三絃・尺八の指導」
会員等の希望者に ９冊を頒布。

● 学校音楽指導者認定試験及び講習会／学校音楽研修会の実施　＜自主事業＞
学校音楽指導者認定試験及び講習会／学校音楽研修会は、実施しないこととなった。

公１（３）　協賛・支援事業

● 明治神宮奉納演奏　＜協力事業(明治神宮)＞

	実　施　日	協力社中と演奏曲
春の大祭	令和４年５月３日(月･祝)	藤井泰和社中「吾妻獅子」
		今井慶風社中「御代萬歳」
秋の大祭	令和４年１１月１日(月)	野坂惠璃社中「万歳」
		山木千賀社中「三九年川」

●「キッズ伝統芸能体験 講師派遣」　＜受託事業((公社)日本芸能実演家団体協議会)＞
東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)及び公益社団法人日本芸能実演家団体協議会が共催。
子供たちに伝統芸能を体験してもらう事業で１５年目を迎えた。企画制作・運営を行う日本芸能実演家団体協議会からの依頼により講師等を派遣。

① 開講式
開催日：令和４年９月１８日(日)
会　場：国立能楽堂(渋谷区)
内　容：稽古に参加する子供達を集め、主催者の挨拶、講師陣による実演を実施。
講師演奏：　「嵯峨の秋」　箏(低音)：北川雅楽乃 、 箏(高音)：花岡操聖・白橋操悠
「岩清水」　尺八：安島瑤山

② お稽古
期　間：令和４年１０月～令和５年３月まで

[コース等]

コース			参加者数	会　場	講師数	参加会員
スタンダード	箏曲生田流	新宿	18 名	新宿文化センター	6 名	A
	箏曲生田流	立川	19 名	立川 RISURU ホール	6 名	B
	尺　八		10 名	芸能花伝舎	2 名	C
ユース	箏曲山田流		18 名	新宿文化センター	5 名	D

[参加会員]（◎:リーダー、以下五十音順）

A	◎福田栄香	青野雅楽浪	大嶋敦子	久野木史恵	中小路奈津子	吉永真奈
B	◎福田栄香	青木礼子	池田和花奈	北川雅楽乃	白橋操悠	花岡操聖
C	◎安島瑤山	田辺恵山				
D	◎山勢麻衣子	市川法慧能	奥山益勢	長岡園美咲	森田博代	
	※代理参加	小間夕起子	佐久間杜和能	武田博華		

③ 発表会
開催日：令和 5 年　3 月 29 日(水)
会　場：国立劇場大劇場

[発表曲]

コース			発　表　曲
スタンダード	箏曲生田流	立川A	「さくら」「うさぎ」
		新宿A	「さくら」「かごめ」
		立川B	「さくら」「ずいずいずっころばし」
		新宿B	「さくら」「通りゃんせ」

スタンダード	尺　八	Ａ・Ｂ	「竹のしらべ」
ユース	箏曲山田流	新宿１	「ウルマ」
		新宿２	「松上の鶴」

［プロ実演］（常任理事・理事、以下五十音順）

演奏曲	出演会員					
「松竹梅」	福田栄香	山勢麻衣子	大嶋敦子	中小路奈津子	長岡園美咲	森田博代
「鶴の巣籠」	安島瑤山	田辺恵山				

●「子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業」　＜受託事業(文化庁／長唄協会)＞

文化庁の新政策として伝統文化等を体験・修得できる機会を多く設けるべく実施する「子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業」に応募し、「邦楽チャレンジ 2022」として当該事業を受託した長唄協会から再受託。

① 鑑賞

邦楽の各ジャンル(長唄、常磐津、琵琶、新内など)が順次演奏。三曲協会は「和楽器で世界一周」を演奏。

② 体験

参加者が順次、各楽器を体験する場を提供

	実　施　日	実 施 会 場	講師数	参加会員
1	令和４年　８月 19 日(金)	宮城県多賀城市　多賀城市民会館	６名	A
2	令和４年 10 月 15 日(土)	東京都青梅市　ネッツたまぐーセンター	６名	B
3	令和４年 10 月 29 日(土)※	群馬県邑楽町　邑楽町中央公民館	６名	C
4	令和４年 11 月 20 日(日)	山口県萩市　萩市民会館	６名	D
5	令和４年 12 月 24 日(土)	埼玉県三郷市　三郷文化会館	６名	E

※ 昨年度コロナ禍で中止となった公演を、実施したものである。

［参加会員］(五十音順)

A	黒田鈴尊	田中奈央一	萩岡松柯	萩岡由子	長谷川将山	深海あいみ
B	青木滉一郎	上村和香能	北川雅楽乃	佐々木千香能	平野雅寿草	舛田路山
C	黒田鈴尊	田中奈央一	萩岡松柯	萩岡由子	長谷川将山	深海あいみ
D	安嶋三保子	大山貴善	田中奈央一	長岡園美咲	舛田路山	山下紗綾
E	朝香麻美子	石本かおり	遠藤鈴匠	長塚梨秋	長谷川将山	吉永真奈

●「邦楽普及拡大推進事業」　＜受託事業(文化庁／トッパン印刷)＞

邦楽は我が国が誇る伝統文化であり、その継承と発展を図るため、大学の部活動・サークル活動を対象として実施。

① オンラインＷＳ

三曲合奏をメインとして、歴史・演奏法等の解説と実演を配信。配信対象は、採択校の学生。

	収録実施日	収録内容	参加会員
1	令和５年　２月　２日(木)	山田流解説、演奏「竹生島」	A
2	令和５年　３月　９日(木)	生田流解説、演奏「八重衣」	B

［参加会員］　(五十音順)

解説	萩岡松韻				
A	上原真佐輝	山勢麻衣子	山登松和	山本邦山	
B	福田栄香	藤井泰和	川瀬庸輔		

② 講師派遣

採択７団体の希望する楽曲の作曲者等を講師として派遣、指導・模範演奏を実施。

	実　施　日	採択団体	講師数	参加会員
1	令和４年 11 月 19 日(土)	岐阜大学	４名	A
2	令和４年 12 月 16 日(金)	岩手県立千厩高校	４名	B
3	令和４年 12 月 20 日(火)	都留文科大学	４名	C
4	令和５年　2 月　5 日(日)	富山県立大門高校	４名	D
5	令和５年　2 月 17 日(金)	東京大学	３名	E
6	令和５年　2 月 19 日(日)	筑波大学	４名	F
7	令和５年　2 月 21 日(火)	津田塾大学	３名	G

［参加会員］（○リーダー、以下五十音順）

監修	福田栄香	平野裕子			
A	○平野裕子	久野木史恵	田辺頌山	日原藤花維柯	
B	○福田栄香	野坂惠璃	白橋操悠	福田操明櫻	
C	○沢井比河流	小林道恵	竹澤 悦子	長谷川将山	丸田美紀
D	○平野裕子	合田雅楽葉	芳賀雅楽由美	村松雅奈	
E	○水野香盟	黒田鈴尊	福田栄香		
F	○藤原道山	友常毘山	平野裕子	福田栄香	
G	○福田栄香	日原藤柯維花	平野裕子	水川寿也	

● 江戸博「えどはくスペシャル公演 はじめての三曲」 ＜受託事業(東京都江戸東京博物館)＞

江戸東京博物館が改装中のため、各所で同博物館主催による公演が行われている一環。
三曲の解説と演奏を実施。また、ロビーで箏の体験を提供した。

実施日：令和５年　1 月 10 日(火)
会　場：曳舟文化センター劇場ホール(墨田区)
出演等：監修、出演、体験補助で会員８名を派遣

［参加会員］（五十音順）

監修	福田栄香				
出演	安島瑤山	大嶋敦子	久松雅紗恵	花岡操聖	福田操明櫻
体験補助	菊武粧子	白橋操悠			

● 第 52 回邦楽演奏会　＜共催事業(邦楽実演家団体連絡会議主催)＞

2023 都民芸術フェスティバル参加公演への協力・出演。

日　時：令和５年　3 月 25 日(土)
会　場：国立劇場小劇場
出演等：第一部　三曲「六段の調」を演奏（小・中・高の児童・生徒）
和楽器解説“胡弓”（長塚梨秋・村澤丈児・菊武粧子）
胡弓「鶴門」を演奏（胡弓：長塚梨秋、尺八：川瀬庸輔）
第二部　箏曲「桜狩」を演奏
（箏：萩岡松韻・萩岡由子、三絃：萩岡松柯、笛：福原徹彦）
第三部　都山流本曲「夕月」を演奏（尺八：野村峰山・藤原道山）

公１（４）　普及広報等事業

● 会報の発行　＜自主事業＞

① 第１２３号（令和４年　5 月発行）

掲載内容 新年交歓会、協会役員担当表・委員会一覧表、第 36 回三曲奨励会の報告、春季三曲名流演奏会の報告、子供のための伝統文化・芸能体験事業の報告、文化庁邦楽普及拡大推進事業の報告、キッズ伝統芸能体験の報告、幻の楽器「オークラウロ」、「第９回日本の響」の案内、会員の受賞、協会だより、第 13 回通常総会資料他

② 第１２４号（令和 4 年 12 月発行）

掲載内容 会長ご挨拶、速報・山勢松韻師 文化勲章受章、13 回通常総会の報告、第 9 回日本の響の報告、秋季三曲名流演奏会の報告、実技講習会の報告、古態の楽器に魅せられて、「ありがとう国立劇場」、第 14 回子供演奏会の報告・出演者感想文、野村峰山師 人間国宝認定、宮城道雄生誕 130 年記念事業「箏曲宮城会オーストリア・ウィーン公演」、協会だより他

● ホームページ等の普及広報活動　＜自主事業＞

協会全般にわたる情報のほか、会報、演奏会情報、各種募集等を掲載。

・ホームページの運営・記事更新の充実
・協会フェイスブックの運営
・その他外部への広報活動

公益事業２　三曲音楽継承者の育成支援及び三曲音楽の向上を主な目的とする事業

公２（１）　三曲奨励会事業

● 三曲奨励会　＜自主事業(文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」助成)＞

37 回目の三曲奨励会を開催

日　時：令和 4 年 12 月　1 日(木)　18 時 30 分開演
会　場：紀尾井小ホール
構　成：令和 3 年度の新進演奏家研修修了生の 3 曲を含む計 5 曲 13 名出演

公２（２）　研修支援事業

● 新進演奏家研修支援 ＜自主事業(文化庁「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」助成)＞

① 令和 4 年度研修の実施

研修期間：令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月の間、会員 3 名が希望講師の研修受講
研修生：木内麻葉（生田流）、田辺恵山（都山流尺八）、長岡園美咲（山田流）

② 令和 5 年度研修生の募集・選考

研修期間：令和 5 年 4 月から令和 6 年 3 月
選　考：令和 4 年 9 月、第 3 回理事会で会員 3 名を選定、文化庁に助成申請。
研修生：金子操由寛（生田流）、中島孔山（都山流尺八）、松本史子（生田流）

公２（３）　育成促進事業

● 講演会　＜自主事業＞

日　時：令和 4 年 10 月　1 日(土) 11 時 30 分～　第 9 回日本の響の第一部、第二部の冒頭に開催
演　題：第一部 三曲に描かれる能楽の世界＜Ⅳ＞、第二部 名曲を訪ねて＜Ⅰ＞
会　場：二十五世観世左近記念・観世能楽堂(銀座 SIX 内)
講　師：第一部 武田孝史師及び長谷川慎氏、第二部 長谷川慎氏

● 実技講習会　＜自主事業＞

日　時：令和 4 年 11 月　6 日(日)、令和 4 年 11 月 27 日(日) 13 時 30 分～16 時
会　場：正派邦楽会館(小金井市)
講習曲：《萩二題》中島靖子作曲「いつまでも」、唯是震一作曲「錦木に」
講　師：箏 奥田雅楽之一師、三絃 中島一子師、尺八 水野香盟師
受講者：箏 14 名、三絃 11 名、尺八 11 名
令和 5 年 4 月 30 日(日)開催の春季三曲名流大会において、受講者による演奏実施。

● 子供演奏会　　＜自主事業＞

第 14 回子供演奏会を実施。コロナ禍のため、3 年ぶりの開催となった。

日　時：令和 4 年　8 月 23 日(火)　11 時開演

会　場：亀戸文化センターカメリアホール(江東区)

演奏曲：33 曲

実施内容：93 名の小中高生が出演。コロナ禍のため、合同曲は無しとし、また、感染防止のため集合写真も 2 回に分けて撮影をした。

公２（４）　助成事業

● 全国高等学校箏曲連盟定期演奏会　　＜協力事業(同連盟)＞

調絃の協力を実施し、会員 5 名を派遣した。

実施日：令和 5 年　1 月 29 日(木)

会　場：板橋区立文化会館　大ホール

［参加会員］　（○リーダー、以下五十音順）

調絃担当	○伊藤松超	伊藤ちひろ	石井雅楽帆	平野雅寿草	水野雅千穂

● 栃木県高等学校文化連盟日本音楽部会発表会　　＜協力事業(同部会)＞

模範演奏と講評者派遣を実施

① 春季発表会

実施日：令和 4 年　6 月 11 日(土)

会　場：栃木県教育会館大ホール（宇都宮市）

内　容：生田流模範演奏　中村文香代妃・矢野文志津圓

② 秋季発表会

実施日：令和 4 年 11 月 12 日(土)

会　場：栃木県教育会館大ホール（宇都宮市）

講評者：理事 2 名（山勢麻衣子・野坂惠璃）を派遣

その他事業１　功労会員表彰事業

● 第 55 回功労会員表彰　　＜自主事業＞

日　時：今年度も表彰式は行わず、対象者へ表彰状を送付した。

表彰者：181 名（令和 3 年 4 月から令和 4 年 9 月までに表彰対象に該当した方）

なお、表彰者には、令和 5 年 1 月 9 日（月･祝）に明治記念館で開催した新年交歓会への参加を呼びかけ、交歓会に先立ち記念写真を撮影・配布した。

その他事業２　三曲音楽の普及・向上を目的とする交流事業

● 新年交歓会　　＜自主事業＞

日　時：令和 5 年　1 月　9 日(月･祝)　16 時開宴

会　場：明治記念館（港区）

出席者：292 名

なお、山勢松韻名誉会長が文化勲章を受章されたため「山勢松韻名誉会長 文化勲章受章祝」を兼ねて実施した。

● 邦楽関係団体との交流

①「邦楽実演家団体連絡会議」へ参加

(公社)日本芸能実演家団体協議会に加盟する邦楽関係 14 団体で構成される任意団体

会　　長：吉住小三郎

事 務 局：長唄協会内(業務受託)

活動内容：都民芸術フェスティバル参加公演「邦楽演奏会」を主催他

②「三曲ネットワーク Japan」へ参加

全国の邦楽関係団体との連携・協力などを目的にした任意団体（参加団体：23）

会　　長：菊武厚詞

事 務 局：大阪三曲協会内

活動内容：三曲関係の情報収集・配布など

その他事業３　その他の事業

● 東京芸能人国民健康保険組合事務取扱

保険料徴収ならびにその事務を実施

Ⅲ　その他の報告

１．会員異動状況（令和 5 年 3 月末現在）　（単位：人）

会員内訳	令和３年度末	令和４年度末	増減数	異動内訳
正会員	4,403	4,176	▲227	入会　67 退会　294
生田部	2,081	2,005	▲76	
山田部	1,647	1,530	▲117	
尺八部	675	641	▲34	
賛助会員	0	0	0	
名誉会員	0	0	0	
合　　計	4,403	4,176	▲227	

２．役員の就任状況（令和 5 年 3 月末現在）　（役職別 五十音順）

役　職	氏名(芸名)	業務執行担当	職業等
会　長	廣田 錵山	代表理事	都山流尺八教授
副会長	萩岡 松韻	事業・普及・研修・渉外担当	山田流箏曲教授
	牧瀬 裕理子	総務・広報・経理担当	生田流箏曲教授
常任理事	青木 鈴慕	事業担当部長	琴古流尺八教授
	中島 一子	経理担当部長	生田流箏曲教授
	中能島 弘子	研修担当部長	山田流箏曲教授
	福田 栄香	普及担当部長	生田流箏曲教授
	藤井 泰和	渉外担当部長	生田流箏曲教授
	山登 松和	広報担当部長	山田流箏曲教授
	米川 敏子	総務担当部長	生田流箏曲教授
理　事	阿部 幸夫	経理担当次長	生田流箏曲教授
	伊藤 松超	事業担当次長	山田流箏曲教授
	上原 真佐輝	研修担当次長	山田流箏曲教授
	川瀬 庸輔	普及担当次長	琴古流尺八教授
	川瀬 露秋	事業担当次長	生田流箏曲教授
	富山 清仁	事業担当次長	生田流箏曲教授
	野坂 惠璃	事業担当次長	生田流箏曲教授
	平野 裕子	広報担当次長	生田流箏曲教授
	藤井 治童	経理担当次長	琴古流尺八教授
	藤井 千代賀	総務担当次長	山田流箏曲教授
	山川 園松	渉外担当次長	山田流箏曲教授
	山木 千賀	広報担当次長	山田流箏曲教授
	山勢 麻衣子	普及担当次長	山田流箏曲教授
	米川 文清	研修担当次長	生田流箏曲教授

監　事	鳥居 名美野		山田流箏曲教授
	水野 香盟		琴古流尺八教授
	矢崎 明子		生田流箏曲教授

３．名誉会長（就任順）

名誉会長	米川 文子	生田流箏曲教授
	山勢 松韻	山田流箏曲教授
	川瀬 順輔	琴古流尺八教授
	富山 清琴	生田流箏曲教授

４．委員会

委員会名称	委 員 長
総務委員会	岸辺 美千賀
第一広報委員会	清野 樹盟
第二広報委員会	田辺 頌山
経理委員会	阿部 むつみ

委員会名称	委 員 長
第一事業委員会	竹内 鈴白
第二事業委員会	神　　令
普及委員会	山本 邦山
研修委員会	五月女 文紀
渉外委員会	野村 峰山

５．外部団体・機関窓口

外部団体・機関名称	職名・担当者等
邦楽実演家団体連絡会議	（運営委員）廣田 錵山 会長
三曲ネットワーク Japan	（副会長）　藤井 泰和 常任理事

６．事務局職員等に関する事項

パート職員５名

７．総会及び役員会等に関する事項

(1) 総会の開催

第１３回通常総会

日　時：令和４年　６月 13 日(月)　14 時開会

会　場：主婦会館プラザエフ「スズラン」（千代田区）

会員総数：　4,403 名

出席会員：　1,505 名（本人出席 40 名、委任状　1,465 名）

議案等：第１号議案　令和３年度事業報告承認の件

報告事項Ⅰ　令和４年度事業計画

(2) 理事会の開催　　会場：DAYS赤坂見附４階会議室

第１回（通算第 62 回）　令和４年　５月　９日(月)

第１号議案　令和３年度 事業報告の承認 【総会：第１号議案】

第２号議案　理事の利益相反取引の承認

第３号議案　届出団体申請および新入会員の承認

第４号議案　後援名義申請の承認

第２回（通算第 63 回）　令和４年　６月 13 日(月)

第１号議案　名誉会長・相談役の委嘱(推薦)

第２号議案　規程の改定「名誉会長、顧問、相談役等の機関に関する規程」

第３号議案　届出団体申請および新入会員の承認

第４号議案　後援名義申請の承認

第５号議案　令和４年度事業の実施計画　「第 9 回日本の響」「第 14 回子供演奏会」

第３回（通算第 64 回）　令和４年　９月 12 日(月)

第１号議案　令和５年度「三曲新進演奏家研修事業」研修生の選出

第２号議案　専門委員(法務･会計)の委嘱を終了する件

第３号議案　規程･要領の制定等

（１）「会員等の慶弔･表彰に係る内規」（新規制定）

（２）「後援名義取扱事務要領」（新規制定）

（３）「情報公開規程」（一部改定）
（４）「個人情報保護に係る管理規程･取扱要領」（新規制定）
第４号議案　名流演奏会の著作権使用料を出演社中が負担する件
第５号議案　理事の利益相反取引の承認
第６号議案　届出団体申請および新入会員の承認
第７号議案　後援名義申請の承認
報告事項１．基本財産を積み増しする件

第４回（通算第 65 回）　令和 4 年 12 月　5 日(月)
第１号議案　今後の事業予定（令和４年度事業）
（１）会報 124 号発行
（２）新年交歓会
（３）第 52 回邦楽演奏会
第２号議案　令和５年度 事業計画の骨格決定
第３号議案　理事の利益相反取引の承認
第４号議案　届出団体申請および新入会員の承認
第５号議案　後援名義申請の承認

第５回（通算第 66 回）　令和 5 年　3 月 20 日(月)
第１号議案　当面の事業予定（令和５年度事業）
第２号議案　令和５年度 事業計画書の承認
第３号議案　役員候補者の承認
第４号議案　理事の利益相反取引の承認
第５号議案　届出団体申請および新入会員の承認
第６号議案　後援名義申請の承認

なお、各理事会において、業務執行状況の報告(前回理事会以降)を行っている。

［役員の理事会出席状況］
第１回　令和 4 年　5 月　9 日(月)　理事総数 25 名(出席 22 名、欠席 3 名)、出席監事 1 名
第２回　令和 4 年　6 月 13 日(月)　理事総数 25 名(出席 23 名、欠席 2 名)、出席監事 3 名
第３回　令和 4 年　9 月 12 日(月)　理事総数 24 名(出席 19 名、欠席 5 名)、出席監事 2 名
第４回　令和 4 年 12 月　5 日(月)　理事総数 24 名(出席 20 名、欠席 4 名)、出席監事 2 名
第５回　令和 5 年　3 月 20 日(月)　理事総数 24 名(出席 21 名、欠席 3 名)、出席監事 1 名

(3) 監事監査の実施　　会場：NATULUCK赤坂６階会議室
令和 4 年　5 月　6 日(金)

(4) 常任理事会の開催　　会場：NATULUCK赤坂６階会議室
第１回　令和 4 年　7 月 11 日(月)
１．通常総会の反省　※来年以降に向けた検討
(1) 運営方法等
(2) 出欠(委任状)の回収状況
２．名流演奏会の骨格検討　※令和６年以降の骨格を整理
(1) 会場の選定
(2) 骨格検討（回数/日数、曲数規模、反響板使用、舞台定員、等）
３．規定の制定等検討
(1)「慶弔/表彰に係る内規」の検討
(2)「後援名義取扱事務要領」の検討
４．その他
(1) 専門委員(法務・会計)の継続可否について
(2) 令和５年役員改選に向けて(委員会設置スケジュール等)
(3) コンピュータウィルスの状況と対策強化について
５．新入会員の承認
第２回　令和 4 年　8 月 29 日(月)
１．令和５年「三曲新進演奏家研修事業」研修生の選出（理事会議案）

２．専門委員(法務･会計)の委嘱を終了する件（理事会議案）
３．規定等の制定/改定について（理事会議案）
(1)「慶弔/表彰に係る内規」の制定
(2)「後援名義取扱事務要領」の制定
(3)「情報公開規程」の一部改定
(4) 個人情報管理に係る規定･要領の制定
４．理事の利益相反取引について（理事会議案）
５．届出団体申請および新入会員の承認について（理事会議案）
６．後援名義申請の承認について（理事会報告）
７．名流演奏会における著作権使用料負担の件（調整事案）
８．その他
(1) 基本財産を積み増しする件

第３回　令和 4 年 11 月 21 日(月)
１．事業実施報告
(1) 第 9 回日本の響
(2) 秋季三曲名流演奏会
２．今後の事業予定
(1) 三曲奨励会
(2) 会報 124 号発行
(3) 新年交歓会
(4) 第 52 回邦楽演奏会
３．令和５年度 事業計画の骨格検討(主な自主事業の計画確認)
(1) 定期演奏会事業　　[事業担当部]
① 春季三曲名流演奏会、秋季三曲名流演奏会
② 日本の響
(2) 教育関係普及事業　[普及担当部]
① 箏の寄贈
② 学校等への講師派遣、演奏（協会事業）
(3) 協賛･支援等事業　[事業担当部・普及担当部]
(4) 普及広報等事業　　[広報担当部]
① 会報発行
(5) 新進演奏家研修･三曲奨励会事業　[研修担当部]
① 新進演奏家研修制度
② 三曲奨励会
(6) 育成促進事業
① 実技講習会　　[研修担当部]
② 子供演奏会　　[事業担当部]
(7) 功労会員表彰事業　[総務担当部]
(8) 普及交流事業
① 新年交歓会　　[総務担当部]
(9) その他
① 通常総会　　[総務担当部]
② 寄付金募集　　[渉外担当部]
４．理事の利益相反取引について（理事会議案）
５．届出団体の申請および新入会員の承認について（理事会議案）
６．後援名義申請の承認について（理事会議案）

第４回　令和 5 年　1 月 16 日(月)
１．今後の事業予定
(1) 第 52 回邦楽演奏会
(2) 春季三曲名流演奏会
(3) 会報 125 号発行
(4) 第 14 回通常総会

(5) 令和５年度 三曲新進研修の状況（文化庁募集と予算）
２．令和５年度 事業計画書の骨子確認
(1) 事業計画書
(2) 令和５年度 主要行事・会議日程表
３．理事の利益相反取引について（理事会議案）
４．届出団体の申請および新入会員の承認について（理事会議案）
５．後援名義申請の承認について（理事会議案）
６．業務執行状況の報告（前回理事会以降、主なもの）
(1) 三曲奨励会
(2) 会報 124 号発行
(3) 新年交歓会

第５回　令和 5 年　3 月　6 日(月)
１．今後の事業予定
２．令和５年度事業計画の承認（理事会議案）
３．理事の利益相反取引について（理事会議案）
４．届出団体の申請および新入会員の承認について（理事会議案）
５．後援名義申請の承認について（理事会議案）
６．業務執行状況の報告（前回理事会以降、主なもの）

［業務執行役員の常任理事会出席状況］
第１回　令和 4 年　7 月 11 日(月)　出席 10 名
第２回　令和 4 年　8 月 29 日(木)　出席　8 名、欠席 2 名
第３回　令和 4 年 11 月 21 日(月)　出席 10 名
第４回　令和 5 年　1 月 16 日(月)　出席　9 名、欠席 1 名
第５回　令和 5 年　3 月　6 日(月)　出席　9 名、欠席 1 名

(5) 各委員会の開催
① 第一広報委員会
開催日：令和 4 年　4 月 14 日(木)、 4 月 15 日(金)
令和 4 年 10 月　6 日(木)、10 月 31 日(月)、11 月　5 日(金)、
令和 5 年　2 月 24 日(火)

８．寄付金に関する事項
① 募集
会員に対する寄付金募集を、会報 123 号(令和 4 年 5 月発行)及び会報 124 号(令和 4 年 12 月発行)で周知した。(振込依頼書を同封)
② 寄付金の状況　（令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月）
件数： 286 件
金額： 1,701 千円
③ 税額控除対象法人の更新
令和 4 年 9 月に、税額控除対象法人の更新が完了し、証明書を受領した。
更新後の期間は、令和 4 年(2022 年) 9 月 29 日～令和 9 年(2027 年) 9 月 28 日
寄付金は税額控除対象寄付金となる。

以 上